

▶ **みんなの力で成功させよう!**
 国体の開催機運を一層盛り上げようと7月23日、「晴れの国おかやま国体開催100日前イベント」が開催されました。
 笠岡総合体育館では、ロサンゼルス五輪金メダリストの森末慎二さんが、国体やオリンピックでの経験について講演。また、今年5月の島の運動会で採火し、その名前を公募していた笠岡の炬火の名前が山川幸さん（白石島）の「海の螢火」に決定し、その報告が行われました。そのほか、プレ・マッチとして、広島県成年女子選抜チームと島根県成年女子選抜チームのバスケットボールの試合も行われ、白熱した試合を見せてくれました。
 また、同日の「よつちやれの夜」も国体100日前記念として行われ、国体連や新山民泊協力が参加するなど、国体成功を願って熱い踊りが展開されていました。



◀ **地域の子どもたちに安心と安全を**

黄色い帽子が子どもたちを見守ります。笠岡小学校区の保護者や地区住民102人が、子どもたちの登下校や地域での生活を見守りながら交流を深めようと、ひまわり隊を組織し、7月15日に結団式が笠岡小学校内貫閣講堂で行われました。

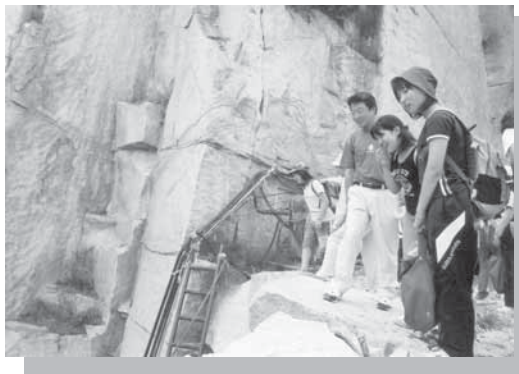
ひまわり隊には、活動中に使用するニコリ笑顔のひまわりが描かれた帽子が配られ、全校生徒との対面では、児童から「これからよろしくお願いします」とあいさつ。閉会後は、低学年の児童とひまわり隊が一緒に下校しました。



▶ **うわー、こんなに深いの！**

7月19日から23日にかけて、神戸にある須磨学園中学校の2年生140人が、北木島で夏期研修を行いました。

初日、大浦の港へ着いた中学生たちは、漁師の船で底引き漁を体験したり、自然いっぱいの中で海水浴を楽しみました。二日目は、北木島の石体験。なかでも、石切場の見学では、深い底を恐る恐るのぞきながら「すごい！」と声を上げていました。また、この日は豊浦港近くの広場で、地元北木中学校の生徒がソーラン節で歓迎。歌や吹奏楽の演奏などで、交流を深めていました。
 その後も、白石島でシーカヤック、飛島でうどん打ち体験、六島で水仙の球根植えなどを行い、笠岡諸島まるごと体験の研修でした。



◀ **電気のを学ぼう!**

7月16日、神島外小学校体育館で、「おもしろ電気教室」が開催されました。

参加した子どもたちは、手回し発電機でおもちゃの車を走らせたり、コイルを使った簡易モーターを作ったりして、電気について学習しました。モーターが回り出すと、みんな「回った!回った!」とうれしそうな表情。

その後は、ジャンボカルタで楽しんだり、ヒヤヒヤおいしい流しソーメンを食べて、地区の人たちとふれあっていました。

